

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユースモンテッソーリー桜の宮		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	モンテッソーリ教育に基づいた支援を行っている	「子どもは生まれながらにして自分自身を発達・成長させる“自己教育力”を備えている」というモンテッソーリ教育の考えに基づき、子どもがおしごと(活動)を自己選択できるような環境を整えている	子どもたちのおしごとへの取り組みや個々の興味・発達段階をスタッフが日々注意深く観察し、その情報をもとに常に子どもたちが「やってみたい!」とおしごとに手を伸ばしたくなるような棚づくりを継続する
2	活動プログラムの立案をチームで行っている	製作、集団、音楽など、モンテッソーリ以外の活動についても、定期的なミーティングにて意見交換を行い、子どもの発達段階に応じたプログラムを立案している	プログラムが固定化しないよう、常に新しいアイデアを発信しやすい柔軟なチームづくりを行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内でできる粗大運動の種類が限られる	モンテッソーリのおしごとスペース拡大に伴い、粗大運動を行うスペースが年長児以上にとってはやや狭く感じられることもある	安全面に十分配慮した上で、近隣の公園への外出を取り入れ、大きく身体を動かす活動の機会も確保していく
2	モンテッソーリ教育の良さや子どもが今取り組んでいるおしごとと家庭や園での生活との結びつきを保護者様に対し十分にお伝えできていない	日々の支援内容について保護者様との情報共有ツールが連絡帳メインであること	SNSやホームページ等での情報発信を増やしていく